

【2016 年度の総括】

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	60,643	103.7	↗
支出	51,674	99.6	→
経常収支差額	8,969	137.5	↗

評価：利用者の変更、増減等なく、大幅ではありませんが、大額かなで利用者の利用実績が昨年よりも伸びており、収入増の見込みです。高額物品の購入はありませんでした。



② 職員配置と研修（職員数は 2017 年 1 月現在）

今年度は正職員 6 名となっております。夜勤者、年度前半は不足気味でしたが、新規登録が増えることである程度夜勤者で埋めることができています。しかし、足りていたとは言えず、急な欠勤も含め各職員が宿直として対応することもありました。来年度からも卒業生が多数いる為、職員での宿直対応、他部署の緊急ローテを依頼して対応していきたいと思えます。また、夜勤者募集の手段として今年度より紹介制度を開始しました。周知は一定の成果を見せており、制度開始から紹介者数が幾分増えています。

研修はすみすみ研修を一名年間通して参加されています。変則シフト制勤務である為、研修参加が難しくもあり、他部署に比べると参加数が少なかったです。強度行動障がい支援者養成研修には 3 名参加されています。

③ 事業内容

概ねの事業内容は前年度と大きく変わっておりません。

今年度の家族会では成年後見人を話題とし、生活支援として具体的にアプローチをしていく必要性を職員間で共有しました。来年度も継続課題とします。

グループホーム部会を立ち上げる。住吉区内の GH スタッフが定期的に会することで情報共有やケース検討の場にしております。

夜勤者等パートスタッフの育成として勉強会を数度行い、支援向上に努めています。

利用者支援では、スタッフへの他害等を頻繁にだされる方への対応に苦慮する。医療的ケアも含めて支援にあたっています。通所や計画相談、包括等を含めた幅広い支援、専門機関の中で支援を継続していきます。

【2017年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	59,460	➡	既存のグループホームにおいては、利用実績も概ね今年度のように推移する見込みで、収入は今年度と同様の見込みです。 新規グループホーム、2017年度後期以降、もしくは2018年度の開設を予定しています。開設時期未定の為収入は未定です。
支出	52,126	➡	既存においては今度並みと考えます。 大領かなでにて介護機器導入を検討(リース含む)

② 主課題

<p>ご家族の高齢化も顕著になりつつあり、後見人制度についてご利用者、ご家族とともに見識を深めていきます。</p> <p>地域との関わりも継続して課題としていきます。</p> <p>新規グループホームの設立に向けての準備。</p> <p>夜勤者、支援員パートの数により、職員のシフトが大きく左右し、時間外勤務が多くなることの負担や日々の支援の質に関わってきます。パートスタッフの円滑な確保が長期的に必要なようになってきており、その仕組みの構築を検討していきたいと思えます。</p>
--

③ 年間事業計画(予定)

4月	個別懇談	10月	大領日帰り企画
5月	GW企画	11月	だいくかのん一泊旅行
6月	家族会 だいくかのん日帰り企画 新規GH工事着工	12月	忘年会企画 年未年始
7月		1月	正月 新年会
8月	お盆企画	2月	
9月	個別支援計画会議 個別懇談 新規GH開所	3月	個別支援計画会議 個別懇談 大領一泊旅行